

# ある むぜお

府中市郷土の森博物館だより

al museo

2020年9月20日

# No.133



聖火ランナーの集合写真（1964年10月8日 府中市役所前）

## もくじ

- 1-2 1964 東京オリンピックと府中  
その2…聖火 府中市に到着
- 3 最近の発掘調査  
中世の府中用水？！
- 4-5 NOTE  
星景写真を撮ろう！
- 6 府中の史料に見る 江戸時代の流行病  
②疱瘡から我が子を守るために…
- 7 府中の都市動物 BLACK LIST ①  
雑木林に毒の針
- 8 平成史に残る天文・宇宙イベント  
⑥冥王星がなくなった！？

## 1964 東京オリンピックと府中

2020年には本来、2回目となる東京オリンピックが開催される予定でした。残念ながら世界的なコロナ禍によって延期となってしまいましたが、今後への期待を込めて、1回目の東京オリンピックと府中とのかかわりを4回シリーズで紹介します。

### その2 聖火 府中市に到着

上の写真は、聖火リレー当日に府中市役所前で撮影された集合写真です。当日の天気は雨。人びとの足が濡れた地面に反射し、鏡像のように写っています。前から1列目は府中市長ほか役員と関係者で、2～4列目が1～3区のランナーです。正走者が各列の真ん中に立ち、その両隣を副走者が固め、それ以外が各区20名の随走者です。

# 1964 東京オリンピックと府中

## その2… 聖火 府中市に到着

聖火ランナーには日の丸をあしらったユニフォームが事前に支給されていました。10月8日の13時頃に全員がそれを着用・集合して出発式を行い、市役所前で記念撮影をしました。当日の天気は生憎の雨。そこから3か所の中継点に向かい、聖火の到着を待ちました。

聖火は4つに分けられ、全都道府県を巡りました。そのうち、9月9日に鹿児島県を出発した第1コースの聖火が、10月8日に山梨県から東京都八王子市に入り、青梅市、小平市等多摩地域の各所を経由して小金井市にもたらされました。

聖火は小金井市から府中市に引き継がれましたが、市の境界線上でリレーされたのではなさそうです。とはいえ、小金井街道上の市境付近であったことは間違いありません。当時の『広報ふちゅう』等には、引継ぎ点について府中市内の「蛇窪バス停」付近とあります。現在このバス停は「浅間町」と改称されており、浅間町交差点北側の小金井街道沿いにありますが、当時は今より約50m離れた、同交差点南側にありました。

一方、関連情報を探していくうちに、同じ道沿いではありながら蛇窪バス停とは異なる引継ぎ点を予告した記録を発見しました。小金井市発行の『小金井市報』では、ランナーの最終到達点について、蛇窪バス停よりも200m以上北に位置する、小金井市前原町の慶応大学工学部（現在は総合学院テクノスカレッジになっている）西側入口とされていたのです。

実際はどのあたりであったのかを探ってみたところ、もはや50年以上も前のことで、当時の現場を覚えている人に話を聞くことはできませんでした。しかし、1枚の写真から具体的な場所が判明したのです。右上の写真には小金井市から聖火を受け継ぐ矢部隆治市長（当時）が写っています。この場所は、市長の頭上にある「芝」と書かれた看板から、当時の住宅地図に「小金井芝商会」とある建物付近と思われました。そこでそ



小金井市からの聖火リレー引継ぎ点（上写真）と、現在の風景（下写真）。当時の面影はほぼない。

の写真を手にも、現地（浅間町2丁目）に赴いてみると、「芝」の看板を覚えている方に会うことができました。現在は当時とは異なる建物になっていますが、その場所は、まさに『広報ふちゅう』に記された旧蛇窪バス停付近でした。

聖火は小金井市内ではなく、府中市内のこの場所で引き継がれたことが確認できました。時刻は16時22分。府中市内の小金井街道と新甲州街道をコースとした、3区間あわせて6.4km、約30分にわたる聖火リレーはここからはじまったのです。（佐藤智敬）



府中市第1区の聖火ランナー（正走者斉藤文子さんほか）。傘をさして見物する人々も写る。

# 中世の府中用水？！

本町二丁目 府中市ふるさと文化財課 佐藤 梨花



調査区の全景。左下の落ち込みが大溝。

今春、JR 府中本町駅から西に約 250 m の沖積低地上で調査を行いました。今回はこの調査で発見された大溝についてご紹介します。

大溝は、調査地内を北西から南東方向に直線的に走ります。深さは 1 m 程度、幅は 2 m 以上ある大規模なものです。覆土中層から下層にかけて、複数の中世遺物が発見されました。

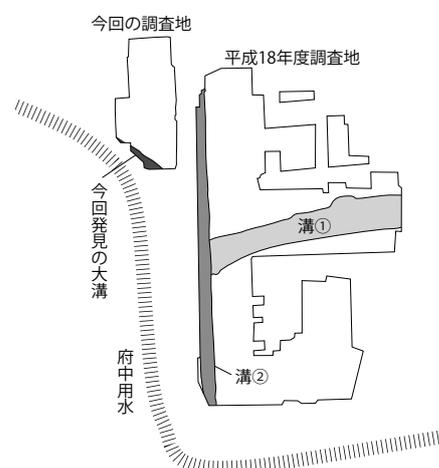
この大溝の南東方向には、平成 18 年度調査地があります（右下図）。この時の調査では、東西方向に走る大溝（溝①）や、南北方向に走る大溝（溝②）が見つかっています。溝①は、奈良時代ごろに使われ、平安時代前半には埋没したとみられます。溝②は、溝①が埋没した後に開削され、鎌倉時代前半ごろには埋没が始まっていたと考えられます。

今回発見された大溝は、形状や位置関係、出土遺物から、溝①・②にはつながらないと見られ、直線的には伸びないようです。

では、この大溝はどこに向かうのでしょうか。それを考える手がかりとして、府中用水があります。府中用水は、現在はその大半が暗渠となっており目にする機会は少ないと思いますが、府中市の低地部を灌漑する主要な用水路です。その開削年代がどこまで遡るのかは分かりませんが、文献史料や先行研究などから江戸時代初頭には存在していたと考えられます。今回発見された大溝は、この府中用水と同じように南に屈曲する可能性が考えられます。想像を膨らませると、この大溝は府中用水の前身かもしれません。

大溝がいつ存在していたのか、それを考える上で重要な出土品があります。調査では、覆土中層から 15 世紀ごろの宝篋印塔の一部が出土しました。さらに覆土下層からは複数のかわけの細片が見つかっています。これらの発見から、大溝は早ければ 15 ～ 16 世紀には下半が埋没しており、中世に利用していた可能性が考えられます。

この辺りは、古代から多くの水路が存在します。その中で、今も我々の生活を支える府中用水が同じように中世にも存在していたかもしれない、そんな可能性が考えられる発見でした。





「当館園内の旧府中尋常高等小学校と天狼星（シリウス）」  
2020年2月11日 筆者撮影

コロナ禍<sup>か</sup>の中、当館では6月2日～7月5日まで日本星景写真協会による星景写真展「星の風景」を開催しました。星景写真とは、月や星を風景と合わせて写したものです。

アジサイがきれいに咲いている期間と重なり、カメラを片手にしたお客様も多く見受けられました。口々にきれいとか素晴らしいなどつぶやいてご覧になっていたみなさんのお持ちのカメラを見ると、星景写真も撮影できるものばかりでした。星景写真は方法が分かればそれほど難しくはありません。そこで、星景写真の簡単な撮影方法をご紹介します。身近な景色に月や星を組み合わせたすてきな写真撮影にチャレンジしてみませんか。

#### ▼ 撮影する前に

星景写真には建物、山、木、花…など、お気に入りの景色を入れます。星空は、時間や角度で見える星の様子が変わります。星座早見盤<sup>はやみばん</sup>などで事前にどんな星が見えているか調べておくといいでしょう。月や明るい惑星<sup>わくせい</sup>、一等星などを入れるとより印象的になります。

カメラは一眼レフ、ミラーレスカメラ、もしくは星空撮影のできるコンパクトデジタルカメラ

やスマートフォンがあれば申し分ありませんが、明るい景色と明るい月や星を写す場合は、一般的なコンパクトデジタルカメラやスマートフォンのカメラでも撮影できます。さらに三脚があれば、カメラをしっかり固定でき、自由にアングルを決めることができます。

#### ▼ 撮影に適したカメラとレンズ

まずはお手持ちの機材のカメラやレンズの焦点距離<sup>しやうてん</sup>、絞り<sup>しぼり</sup>、シャッタースピード、ISO感度、画面サイズ（フィルムカメラのフィルムサイズに当たる）を調べてみてください。

星景写真に適したカメラ（レンズ）は、焦点距離が24～28mm（フルサイズフォーマットの場合）、絞りは開放のF値の数字が小さい4以下のもの、シャッタースピードは数秒～30秒、できたらバルブ（露出の継続が可能）のあるもの、ISO感度は1,600あるいはそれ以上に設定できるものが良いでしょう。

24～28mmのレンズをおすすめしたのは、肉眼で見た印象に近い範囲を撮影できるからです。人が両目で見て一度に色までしっかり確認できる範囲は、水平方向で70°前後と言われています。これに近い範囲が写るレンズは、水平の画角



「富士山と天の川・木星」 2020年8月15日  
撮影地：山梨県南都留郡富士河口湖町

が65°の28mmのレンズと、74°の24mmのレンズです。肉眼で見た印象に近い、広がりを持った風景と星空を記録するにはこの焦点距離が必須です。

F値、ISOについても補足しておきます。F値は絞りのことで、レンズの穴の大きさを狭めたり広げたりすることで、光の量を調整するものです。F値が小さいほどレンズの穴が大きくなり、多くの光が通ります。星は暗いので、F値が小さいほど写りやすくなります。

ISO感度は、100を基準に200、400などと表されます。この数字が大きければ感度が高くなり、暗いものが写りやすくなります。夜景や夜空は暗いので、ISO感度を800以上で撮影します。

### ▼ 実際に撮影してみよう

冒頭の写真は、明るい市街地の作例としてご覧ください。これは、焦点距離25mm（フルサイズ換算）、絞りをF4、シャッタースピード2秒、ISO感度800で撮影しました。空の明るい市街地では、このデータを参考に、絞りやシャッタースピード、ISO感度を調節して撮影してみてください。そして、写した画像を見ながら、最適な景色と星空のバランスを見つけてください。

その際、ピントはしっかり合わせましょう。ただし、ピント調整がオートしかできない機種もあります。マニュアルが使える場合は、しっかり合わせてください。レンズのピントを無限大(∞)に合わせていれば大丈夫と思っている方がいらっしゃるかもしれませんが、それではピントが合っていないことが多々あります。必要なのはのぞいた星が一番小さく見えるように調整することです。ライブビューモニター機能のあるカメ

ラでは、明るい星を視野に入れ、モニターに映る星の部分を拡大することで、より正確にピントを合わせることができます。

### ▼ 天の川も入れて撮影しよう

天の川も見えるような空の暗い場所に出かけたら、その場所の特徴的な景色と星空を合わせて撮影してみましょう。左の写真は、富士山のふもとで撮影したものです。焦点距離25mm（フルサイズ換算）、絞りはF2.8、シャッタースピード8秒、ISO感度2,500で撮影しました。場合によっては、もう少しシャッタースピードを遅くしても大丈夫です。ただし、星を点像にするには、15～30秒までです。

### ▼ 星をもっと引き立てよう

景色に対して星がさみしく見えてしまうことがあります。特に街中で撮影した場合顕著です。そこで、星をにじませて大きくしたり、シャッタースピードを遅くして星の軌跡を描かせたりします。ここでは星を大きく写す方法をご紹介します。

星を大きく写すためには、星をぼやかすことができる、ソフトフォーカスフィルターをレンズに付けて撮影します。下の写真は、左上の写真と同じ場所でフィルターを付けて撮影したものです。どちらも1・2番目に明るい星が木星・土星ですが、下の写真の方がより印象的に写っているのがお分かりいただけるかと思います。

さて、みなさんはこれを読んで、どんな星景写真を撮影するのでしょうか。風景と一緒に印象的な星空を記録できれば、いい記念になることは間違いありません。さらに、多くの人とその感動を共有できることでしょうか。そして、みなさんの感動を、この博物館から伝えるための星景写真展を開催できたらと思います。



「富士山と木星・土星・秋のひとつ星」 2020年8月15日  
撮影地：山梨県南都留郡富士河口湖町

## 府中の史料に見る

# 江戸時代の流行病

## ② 疱瘡から我が子を守るために…

江戸時代は子どもの死亡率が高く、色々な病気や事故が死の要因となりました。中でも、繰り返し流行する疱瘡（天然痘）や麻疹は、主に子どもがかかる病気で、それらが我が子に死をもたらさないように、人々は様々なことを行っています。

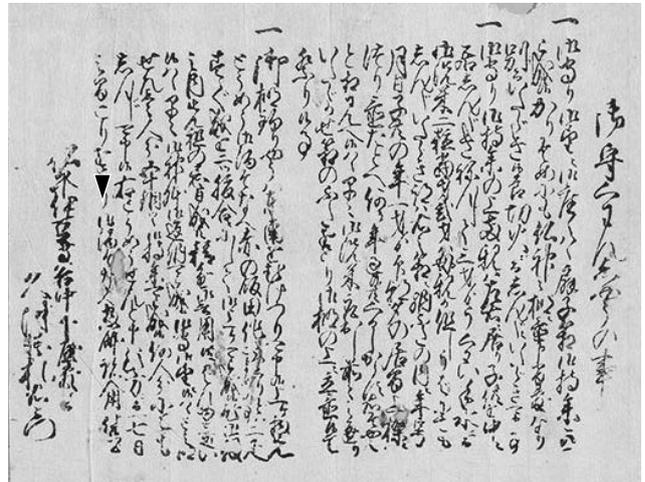
疱瘡から子どもを守るためには、赤色のものを身近に置くのが良いとされていました。「赤絵」と呼ばれる赤一色で描かれた刷物や、赤色の玩具・着物などです。これは、疱瘡をもたらず疱瘡神が赤を好むためだとも、嫌うためだとも言われます。また、疱瘡の発疹が紫色から赤くなると無事に回復するからという説もあります。

赤絵には、疱瘡神がその武力を恐れて寄り付かなかったという伝説を持つ平安末期の武将・源為朝や、魔を祓い病を癒すとされる中国の神・鍾馗などが描かれました。赤色の玩具は犬や牛など様々で、福島県会津地方の郷土玩具「赤べこ」や岐阜県飛騨高山の「さるぼぼ」も疱瘡のお守りとして用いられていたと言われます。

また、疱瘡に罹患すると屋内に疱瘡棚を設置することが広く行われていました。これは疱瘡神を迎えるための棚で、祀ることにより疱瘡の平癒を願うものです。市内宮町の旧家には、この疱瘡棚の仕様を記した紙片が残されていました。それによると、約33cm四方の棚の前方に鳥居を立て、後方に巻藁を置くとあります。この棚に灯明や供物などを捧げ、巻藁には幣束などを立てたと推測できます。

疱瘡神に関する史料としては、この他に住吉町で「御守くわんしやう（勧請＝神仏を迎え祀ること）の事」と題された刷物が見つかっています。これは「久津国疱瘡神勧請書付」と書かれた紙に包まれており、文字が一部消えています。発行は「松平伊豆守谷中下屋敷にて 久津国札右衛門」と読めます。「久津国」は存在しない国名で、この疱瘡神の詳細は不明ですが、この刷物には次のようなことが記されています。

○お守りを所望するなら扇子箱を持参すること。



「久津国疱瘡神勧請書付」本宿小野宮 内藤治右衛門家文書

その際、灯明銭として1人50文をいただく。

- お守りを持ち、子どもを真ん中にして両親が左右に並び祈念する。3歳以上は米2粒を手水で洗い、2歳以下は母親か乳母がこれを行った後、その洗米を扇子箱に納める。
- 扇子箱の蓋の内側に年月日と子どもの年齢を記し、居間に釣っておく。何年経っても構わないので、疱瘡にかかったら洗米を取り出していただき、蓋を取った箱を疱瘡棚に祀る。
- 疱瘡棚は東南を向けて釣り、供物と灯明、お酒を捧げ、赤飯と田作りを供える。

疱瘡棚は、症状が現れてから僧侶や修験者に頼んで設置することが多かったと思われます。しかしこの疱瘡神のように、いずれ訪れる我が子の感染に備え、予め勧請しておくものもあったことがわかります。

この疱瘡という流行病に大きな転機が訪れたのは、江戸時代末期のことです。イギリス人のジェンナーが考案した種痘の牛痘苗を嘉永2年（1849）に日本が入手し、安政5年（1858）には江戸に種痘所が開設されました。人体に牛痘のウィルスを接種して免疫を得させるこの予防法が普及するにつれ、疱瘡による死者は減少していくのですが、それはまた次号でお話することになります。

（花木知子）

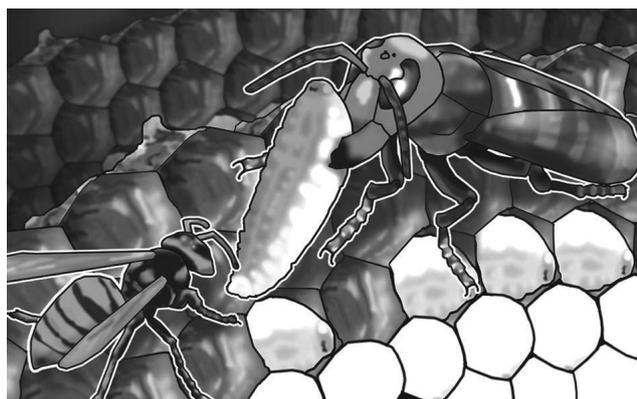


## 雑木林に毒の針

新型コロナウイルスの猛威が続いていますが、皆さんお元気でしょうか。こんな微生物のために、社会全体がマヒしてしまうことに驚愕しています。ところでウイルスとは異なりますが、都市には生物による迷惑行為が常に発生しています。我々人間社会の中に侵入する動植物は、その大半こそ巧みに共存しますが、一部については大変困った者がいます。本シリーズでは、そんな都市動物のおたずね者を紹介していきます。

今年は無言の夏休みでしたが、近くの公園などで虫取りくらいは出来ましたか？ 手近な娯楽に昆虫採集を選んだ親子も少なくなかったのではと思います。雑木林のある当博物館の園内でも捕虫網を持って歩く家族を目にしました。狙いは当然カブトムシやクワガタがいそうなクヌギやコナラでしょう。但し注意して近づかないと、実はここに危険が潜んでいます。昼の時間帯では、お目当ての昆虫が滅多に姿を現さないで、つい夢中になって木の周辺を探していると、傍からブンブンと異様な羽音で飛ぶ悪役顔に出会うことがあります。オオスズメバチです！

オオスズメバチは体長が4 cmにも達する世界最大のスズメバチです。性質は凶暴で、強大に発達した大顎と強力な毒針を武器にして、巣に近くあらゆる動物に対して執拗な攻撃を加えます。さらには他の種のスズメバチやミツバチの巣を集団で襲い、激しい戦闘によって相手側の成虫をことごとく殺戮する習性を持っています。戦闘後



に巣を占拠し、幼虫や蛹のすべてをエサとして自身の巣へ運び去る、まさに昆虫界の最強軍団であり、ギャングを地で行く存在なのです。彼らは秋になると次世代のオスと新女王の幼虫を育てなければなりません、その数は数百匹に達するため、多量のエサが必要になります。夏の間狩っていたコガネムシやカミキリムシなどは、秋に姿を消してしまいます。そこでこの時期、巢中に幼虫や蛹が最も多い同属のスズメバチからエサを略奪しようというわけです。自己のためには手段を選ばない恐ろしい集団ですね。

本来スズメバチは人間との関りが薄い昆虫でした。通常は二次林である雑木林など、せいぜい里山の生態系内で暮らしていたのです。作物の受粉を担い、樹木の害虫を捕食し、人間側から仕掛けない限りは攻撃するわけでもなく、むしろ有益とされていた程です。ところが、近年都市で人が刺されて死者が出る事例が増えてきました。昔からハチの毒針は恐れられてはきたものの、都市への進出は目立ちませんでした。増加傾向を示し始めたのは1970年代からです。原因は宅地化やレジャー施設の建設で森林が伐採され、彼らの生息適地が減少したことで、都市の公園や人工植栽に移って来たものと考えられています。加えて都市では殺虫剤の散布は減少、放置された空き缶や生ゴミに残るジュース・肉片などが成虫のエサとなり好都合なのでしょう。市街地では内部に隙間のある人工植栽、例えばツバキやキンモクセイに巣を作ることが多く、ゆえに庭いじりの最中に被害に会うなどの事故が起こっています。オオスズメバチの毒性は強く、刺されるとショックで命を落とすこともあり大変危険です。実際に年間で数十名が死亡しているようです。市街地における駆除依頼件数は1990年代に激増し、1980年代の10倍近くとなりました。当博物館の園内でもここ数年発生率が高まり、夏は要警戒です。そこで女王の飛び始める春先から至る所に捕獲トラップを仕掛けてはいますが、防ぎ切れるものではありません。他のスズメバチも対象に、毎年の臨戦態勢が続いています。しかし、彼らの行動は単なる居場所の確保、生活に必要な戦略の行使に過ぎません。彼らの領域に先に手を出した我々こそが迷惑そのものだ、という考えもふとよぎるのです。

(中村武史)

# 平成史に残る天文・宇宙イベント



## ⑥冥王星がなくなった!?



平成 18 年 (2006)、天文業界だけでなく、全世界に激震が走りました。「冥王星」が太陽系の惑星の仲間から外れてしまったのです。当時、すでに天文の世界に足を踏み入っていた私は、周りの人からなぜか「冥王星ってなくなったの？」と何度も聞かれ、「なくなっていないですよ」と答えた記憶があります。

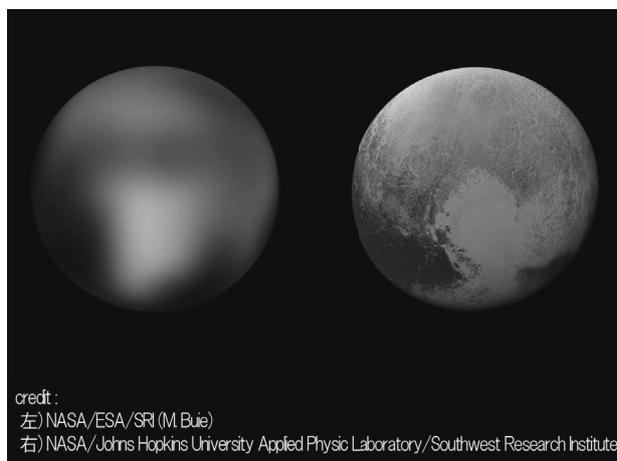
冥王星は、1930 年にアメリカのグライト・トンボーによって発見されました。この時、冥王星の大きさは地球に匹敵するくらいだと見積もられ、太陽の周りを回る 9 番目の惑星となりました。こどもの頃に「水金地火木土天海冥」と惑星の順番を覚えた方も多いのではないのでしょうか。

すっかり惑星として定着した冥王星に転機が訪れたのは平成 17 年。冥王星の外側に、冥王星よりも大きな天体が見つかったのです。この天体の出現により、冥王星の分類について議論が沸き起こります。実は平成 4 年、冥王星の外側を回る天体が初めて発見されてから、同じような天体はいくつも見つかっていました。この頃から冥王星は惑星ではなく、冥王星の外側にたくさん見つかる天体の仲間なのではないかとすでに言われ始めていたのです。発見当時よりも観測技術が進歩したことで、冥王星は月よりも直径が小さいこともわかっていました。そこへ冥王星よりも大きな天体が発見されてしまい、これを惑星とするのかどうか、大論争が巻き起こったというわけです。ちなみに、後にこの論争のきっかけとなった天体には、不和の女神「エリス」の名前が付けられました…。

世界中が見守る中、国際天文学連合は最終的に惑星の定義を①太陽の周りを回っている、②自分の重さで球状になれる質量がある、③公転軌道に他の天体がない、としました。これで惑

星は「水金地火木土天海」の 8 つの星だけとなったのです。①②のみを満たす天体は新たに「準惑星」に分類されることになりました。これにより、冥王星は惑星ではなく準惑星になったのです。そして、海王星よりも外側にある準惑星は「冥王星型天体」と呼ばれるようになり、冥王星は同じエリアにある星たちの代表格となりました。

現在、5 個の天体が準惑星として登録されており、海王星よりも外側にある太陽系外縁天体は約 3,200 個も見つかっています。平成 27 年には、惑星探査機「ニューホライズンズ」が冥王星に到達し、これまでわかっていなかった冥王星の直径や地表の様子を明らかにしました。現在は冥王星よりもっと遠くにある天体を調査しています。もはや冥王星が太陽系の果てにある未知の天体だった時代は終わったのです。令和の時代には、冥王星の外側にさらに多くの天体が発見され、太陽系の地図は大きく広がっていくことになるでしょう。(塚田小扶里)



credit:  
左) NASA/ESA/SRI (M. Bujic)  
右) NASA/Johms Hopkins University Applied Physic Laboratory/Southwest Research Institute

左はハッブル宇宙望遠鏡が地球のそばから撮影した冥王星。右はニューホライズンズが地球から約 48 億 km かなたの冥王星に接近して撮影したもの。発見から 85 年たってようやく地表の詳細な様子が捉えられた。